



南部町赤十字奉仕団合併20年のあゆみ

発行・編集／南部町赤十字奉仕団 広報部 事務局／南部町社会福祉協議会 電話：0859-66-2900

令和7年11月6日発行

この記念紙は、赤い羽根共同募金配分金を活用して作成しました。



ごあいさつ

委員長 陶山 睦子



南部町赤十字奉仕団は、平成十七年の合併以来今年で二十周年を迎えます。これまでの活動は地域の皆様や関係諸団体のご支援のおかげであり心より感謝申し上げます。

私たちは、赤十字の理念である人道の実現を目指し、様々なボランティア活動を通じて地域社会に貢献するという強い思いを持ち、これまで思いやり、やさしさ、助け合い、奉仕、人と人との繋ぐ心、を大切に共に助け合う明るい社会のために活動して参りました。

二十年にわたる歴史と伝統を顧みたま時、諸先輩の後に続き地域福祉の向上に貢献出来る事を誇りに思います。これからも奉仕の精神を原動力として仲間を募り活動を広げ、皆様のお力をお借りし地道に活動して参りたいと思います。奉仕団の軌跡を記念誌としてまとめましたので、ご高覧頂けましたら幸いに存じます。

南部町赤十字奉仕団
合併二十周年を祝して

日本赤十字社鳥取県支部

事務局長 池上 祥子



南部町赤十字奉仕団合併二十周年を心からお祝い申し上げます。旧西伯町と旧会見町の奉仕の精神が一つとなり、高齢者施設

での奉仕活動や小中学生のボランティア体験の支援など地域と連携し人々との繋がりを大切に活動は、多くの方々の信頼と共感を得て地域社会に確かな安心と温もりを届けておられます。また、献血や募金、赤十字運動の普及推進など、当支部の活動に大きな力を頂いております。歴代の委員長、団員の皆様のこれまでのご尽力に改めて敬意を表しますとともに深く感謝いたします。

二十年にわたる貴団ご活動が、次の世代へと受け継がれ更に発展していくこと、あわせて、皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

南部町赤十字奉仕団
合併二十周年を祝して

南部町社会福祉協議会

会長 入口 幹



南部町赤十字奉仕団合併二十周年おめでとうございます。団員各位の永年に亘る地道な活動に対し、心より感謝と敬意を表します。

また、南部町社協が主催する事業であります法勝寺川土手清掃ボランティア、子供服リユースに係る託児ボランティア、夏休みボランティア体験（小・中学校）での奉仕など様々な場面で協力頂き重ねて感謝申し上げます。赤十字奉仕団員の皆様方の崇高な団員信条に基づく活動は、地域に根差し地域になくはならないものであり、ボランティア団体の模範を示すものとなっています。皆様方の活動が更に充実、拡大し発展されることを祈念いたします。

南部町赤十字奉仕団
合併二十周年に寄せて

社会福祉法人 伯耆の国

理事長 山野 良夫



南部町赤十字奉仕団合併二十周年誠にありがとうございます。奉仕団精神の人道・博愛を基

本に、団員一丸となったこの二十年間の活動に対し、心より敬意を表す次第です。この二十年間には、平成二十三年の東日本大震災をはじめ五度もの大震災等が発生し、赤十字奉仕団の活動が地域の中で明確に見えた二十年ではなかったかと思われま

す。ゆうらくには、施設の中に季節の花があり、同じ地域で暮らしてきた馴染みの顔に会い、親しく声をかけてもらえる安心感が芽生え、目指す暮らしの継続そのものがあります。時間の経過とともにメンバーが替わっても、この活動のバトンが確実に引き継がれ、施設の中に暮らしの風を吹き込んでいただき、入居者の心の癒しとなり続けることを強く希望するものであります。

今後も赤十字精神に基づいた活動の拡充を強く希望し、この間の活動に対し、改めて感謝と敬意を払うものであります。



赤十字は赤十字活動を表す「しるし」です

赤十字奉仕団 8の基本

- 社員増強に努める
- 新団員の加入促進
- 団員交流スポーツ大会の実施
- 各支部の事業推進

- 日南町赤十字奉仕団
- 境港市赤十字奉仕団
- 鳥取市赤十字奉仕団
- 湯梨浜町東郷赤十字奉仕団
- 八頭町赤十字奉仕団

- 救命救急法講習会
- 車イス介助講習会
- 防災ボランティア研修への参加

- 献血推進の呼びかけ、献血車協力

- 赤十字デーの普及活動の実施
- 町行事等に参加し、赤十字奉仕団の普及活動の実施
- 奉仕団だよりの年一回の発行

- 施設奉仕
- 募金運動の実施
- 子供たちとの交流
- 地域諸組織・団体との連携活動

- プルタブを回収し車イスを贈る活動の継続
- 法勝寺川土手清掃活動

- 炊き出し訓練の実施
- 災害ボランティアセンターへの支援体制準備

いっしょに活動しませんか!!

赤十字奉仕団員 信条

- 一、すべての人々の幸せを願い
- 一、常にくふうして人々のために
- 一、身近な奉仕をひろげすべての人々
- 一、よりよい奉仕ができるよう努める
- 一、手をつないで世界の平和につくす

